

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-223-7236

年度	令和3年度	
施設名	新潟市児童センター	所管部・課 中央区健康福祉課
施設の設置目的	児童センターは児童に健全な遊びを与え、児童の健康及び体力の増進を図り、情操を豊かにすることにより、児童の健全育成に資することを目的とする施設です。	

当初予算(千円)	当初人員(人)	作成日	R3.6.30
歳入	正職員	修正日	
歳出	会計年度任用職員 5	評価日	R4.3.31

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標					R3結果
1	市民	児童・乳幼児と保護者の来館者数の増加	1日平均来館者45人以上(単位:人)	71	75	34	45	45	少しずつ来館者が増えているが、引き続き施設や遊び道具の準備のため開館時間が短く、また、遊び道具の限定を考慮して目標値を設定する。	子育て支援事業などの各種イベントの充実、丁寧な対応日々、月々、年間の統計	来館者数が昨年度より1日平均11人増加した。臨時休館が2度あったが、再開すると待たせたと理解する姿があった。消毒の徹底や換気などのコロナ対策をし、一人一人に寄り添った丁寧な対応の成果と考える。	B:達成
2	市民	申込制イベントの参加率の増加	申込制事業参加率70%以上のイベントが9割(単位:%)	77	76		90	76	定員をほぼ半分にしたため高い参加率が期待できるが、来館者の減少が以前続いていくことを考慮して目標値を設定する。	来館者への積極的な声掛けガイドやホームページ、近隣小学校への働きかけ	全般的にイベントの参加率が低かったが、特に乳幼児親子対象イベントの参加率が低かった。コロナ下もあると思うが、保育施設入所の低年齢化による影響も大きいと考える。	C:未達成
3	市民	新規・継続利用団体の確保	年5団体以上(単位:団体)	22	18	3	5	4	三密を避ける対策により団体の利用はとて難しいが、引き続き関係機関へのPRを行う。	無難のない範囲での、小学校の教育活動への提案や園外保育へのPR	コロナのため、昨年より小学校低学年による施設見学が今年度はあった。2月・3月は保育所の利用率が毎年あるが、臨時休館のため利用できなかった。	C:未達成
4	市民	来館者の満足度	アンケートによる児童センター満足度「とても満足」80%以上(単位:%)	80.0	80.0	78.0	80.0	86.0	遊び道具や遊び方が限られた状況であるが、来館者の「楽しかった、また来たい。」を目指す。	来館者対象の利用者アンケート実施	目標値を6ポイントも上回った。アンケートでは「児童センターの職員が優しい。」「一緒に遊んでくれる。」「楽しいイベントがある。」など肯定的な自由記述が多くあった。	A:達成(優)
5	市民	利用促進のための広報の充実	職員による訪問PRを10回以上(単位:回)	14	13	9	10	11	訪問があらかじめ決定している場でのPRを主な回数とする。	子育て支援講座、就学説明会、ガイド配付時や市内子育て支援施設等へ訪問広報活動	ガイド配付時やゆりかご学級、小学校の入学説明会時にPRさせていた。どの施設もPRのための時間や場所を快く提供してくれた。	B:達成
6	業務	災害及び、事件・事故発生時の対応強化による安全安心の確保	万代市民会館全体で行う避難訓練に職員・来館者8人以上参加(単位:人)	6	9	11	8	10	6月の第1回避難訓練には職員3人の参加があったので、プラス親子一組の目標とする。	勤務時間やイベントなどの調整 来館者が「協力しやすい体制づくり」や働きかけ	万代市民会館全体で行う避難訓練に加えて、児童センター中心に不審者対応避難訓練を行った。今後も来館者には無理のない範囲で参加の声掛けを行ってきたい。	B:達成
7	業務	学生ボランティアの確保	年間30人以上(単位:人)	116	142	22	30	50	今年度も学生ボランティアの確保は難しいと考えるが、昨年度より増えた数値目標を設定する。	ボランティア登録制度 大学のボランティア担当窓口への働きかけ	今年度は大学の働きかけで参加した学生、個人で定期的に参加した学生、万代市民会館内での施設を利用している学生が何人も参加してくれた。今後も密に気を付けていきたい。	A:達成(優)
8	人材	地域組織活動グループとの連携	連携事業参加人数平均10人以上(単位:人)	23	25	9	10	9	定員をほぼ半分にし、また、大きなイベントの中止があるため、この目標値を設定する。	連携強化のための相談や話し合い、すみ分けや役割分担の明確化による事業の充実	今年度も遊びフェスティバルや豆まきなどの大きなイベントを実施することができなかった影響が大きかった。臨時休館によるイベントの中止の影響も大きかった。	C:未達成
9	人材	職員の自己改革や意識改革	研修会等へ職員の参加(平均1人2回、計10回以上)(単位:回)	13	16	26	10	33	月立厚生員基礎研修会への2人の参加、また、オンライン研修を実施することとする。	研修会への積極的な参加	新潟市児童センター合同研修会に参加したり他の児童センター見学をしたりした。また、臨時休館中心の在宅勤務の自己研修も充実することができた。	A:達成(優)
10												

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価(評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<p>今年度に入っても新型コロナウイルス感染症のため、徐々に増加していますが、従来よりも来館者数が少ない状態です。利用者の方々の新型コロナウイルス感染症予防の意識や開館時間が短くなった、遊べる道具が少なかったり、イベントの定員が半減したり、大きなイベントが中止になったりするのが要因だと考えます。今年度もしばらくの間このような状況が続くと思われる中で、来館者の満足や確保に可能な限り努めています。このような中、自らの資質・指導力の向上に努めるとともに、地域組織活動グループや小学校、他施設と連携し、事業の充実を努めます。また、日々の施設道具の点検や遊びの見守りを確実に行い、安心安全で健全な遊びの場を子どもたちに提供します。「楽しかった、また来たい。」という思いをもってもらうよう日々、利用者それぞれの状況に応じた言葉かけをし、心のこもった丁寧な対応をします。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大予防のため9月の3週間と1月下旬から3月上旬までの6週間臨時休館となった。令和3年度の1日平均来館者数は令和2年度よりも増加したが、イベントの参加者数は減少した。児童センターで遊びたいがコロナ禍のため存分に利用するまでの状態ではない様子が表われていると思う。一方、利用者のアンケート結果を見ると、来館者の肯定的な満足度は非常に高い。職員が様々な研修に積極的に参加し児童センターの充実を努めたことや、来館者一人一人に寄り添った対応の結果だと考える。今年度も交付金により、図書の実費や壁掛けおもちゃの購入、壁紙の張替えなど多くの遊具などをリニューアルすることができた。令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の影響が予想される。可能な限り、市民や乳幼児・児童に広く知ってもらえるようにPRに努め、他の施設にはない児童センターのよさや持ち味を積極的に発信していきたい。また、研修等を通して職員の資質向上に努めていき、「楽しかった、また来たい。」と感じる児童センターを目指し、利用者それぞれの状況に応じた言葉かけや心のこもった丁寧な対応をしていきたい。</p>